

5-3 東海地方の微小地震の分布 (1994年11月1日～1995年4月30日)  
**Distribution of Microearthquakes in Tokai District**  
**(Nov. 1, 1994-Apr. 30, 1995)**

名古屋大学理学部  
School of Science, Nagoya University

前報<sup>1)</sup>に引き続いて1992年11月1日より1993年4月30日までの6ヶ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

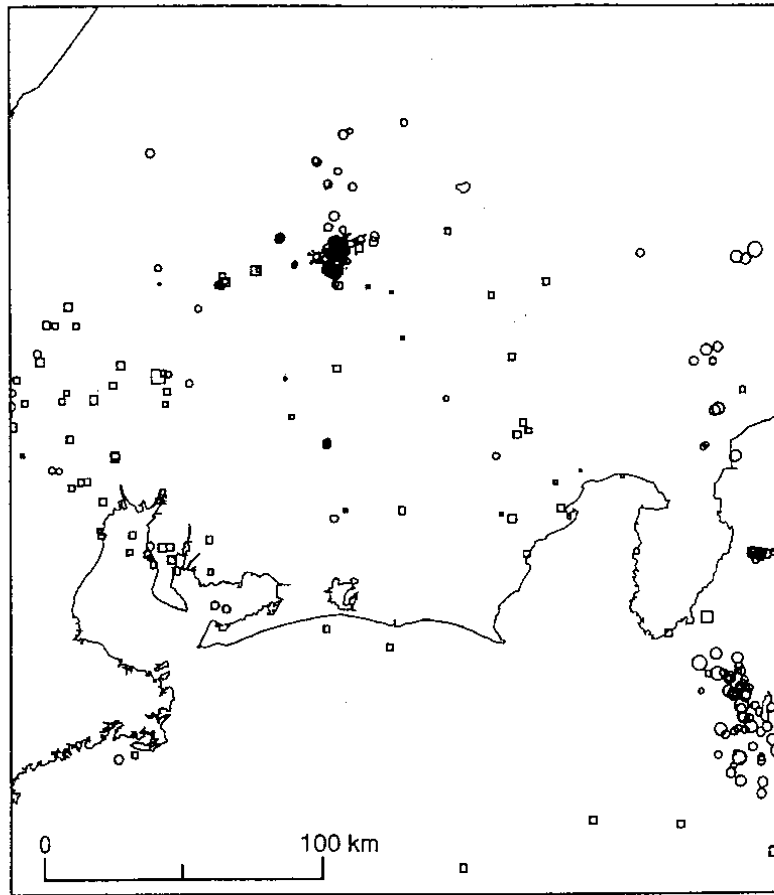
第1図は1995年4月30日までの6ヶ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km未満の深さで発生している地震の震央を3ヶ月ずつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20km以深から80km未満の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) この期間での愛知・岐阜・三重県等西部地域での地震活動は、M3以上の地震が愛知県内で10回、三重県内で2回、岐阜県内で5回発生し活動的であった。特に12月には地震活動が多く見られたほか、11月20日には岐阜・愛知両県の県境付近でM4.4の地殻内地震が発生し、12月23日には知多半島南部でM4.6等の地震が観測された。
- (2) 長野県南部・静岡県・山梨県の地域では、M3以上の地震は3回で比較的静穏な活動であったが、3月にやや活動的で4月18日に駿河湾北部でM5.0の地震がありM4.2の地震を含む余震活動があった。第3図に駿河湾周辺の最近15年間の地震活動を示す。この地震の震源の位置はフィリピン海プレートの地震活動の東縁の隅にあたっている。
- (3) 長野県西部地域では11月までは比較的平常通りの活動であったが、12月ころより微小地震が活動的となり、特に1982年から今まで静穏であった長野県西部地震発生域の南側でそれ以後静穏であった地域が活動的となり、1995年3月17日にこの地域でM5.1の地震と多くの余震が観測された。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布 (1994年5月1日～1994年10月31日)，連絡会報，**53** (1995)，430-432.

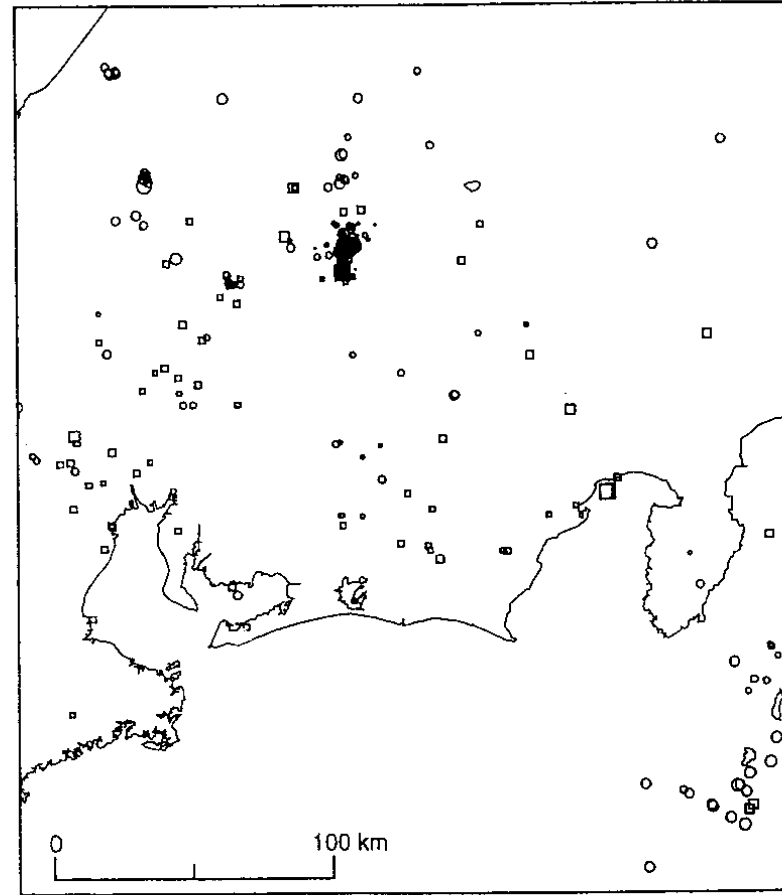


N = 409

DEPTH 0 10 20 km  
○ □

MAG. 1 2 3 4  
• ○ ○ ○

1994 11 1 - 1995 1 31



N = 436

DEPTH 0 10 20 km  
○ □

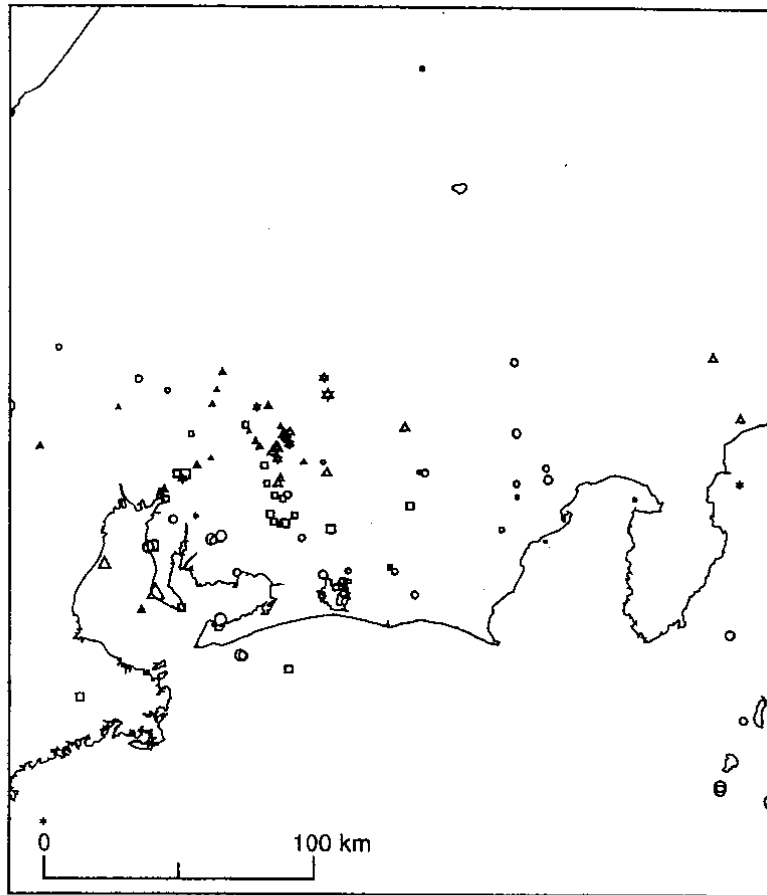
MAG. 1 2 3 4  
• ○ ○ ○

1995 2 1 - 1995 4 30

(NAGOYA UNIV.)

第1図 微小地震の分布 (1994年11月1日~1995年4月30日) 震源の深さが20km未満のもの

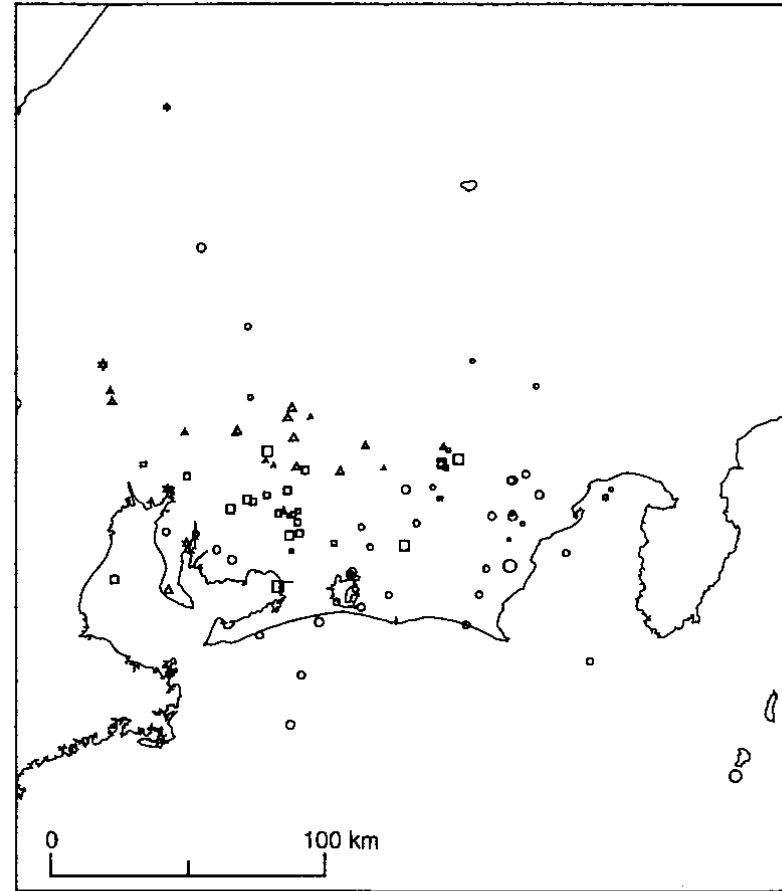
Fig.1 Epicenter distribution of earthquakes (Nov. 1, 1994-Apr. 30, 1995) shallower than 20km.



N = 102

DEPTH 20 30 40 50 80 km      MAG. 1 2 3 4  
 ○ □ △ ☆      · ○ ○ ○

1994 11 1 - 1995 1 31



N = 95

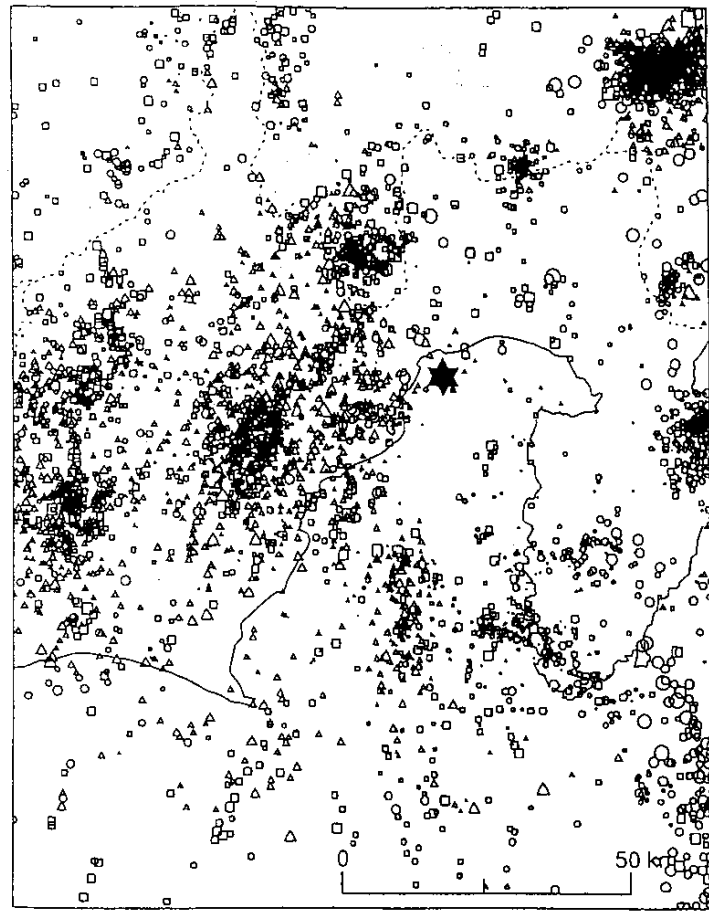
DEPTH 20 30 40 50 80 km      MAG. 1 2 3 4  
 ○ □ △ ☆      · ○ ○ ○

1995 1 1 - 1995 4 30

(NAGOYA UNIV.)

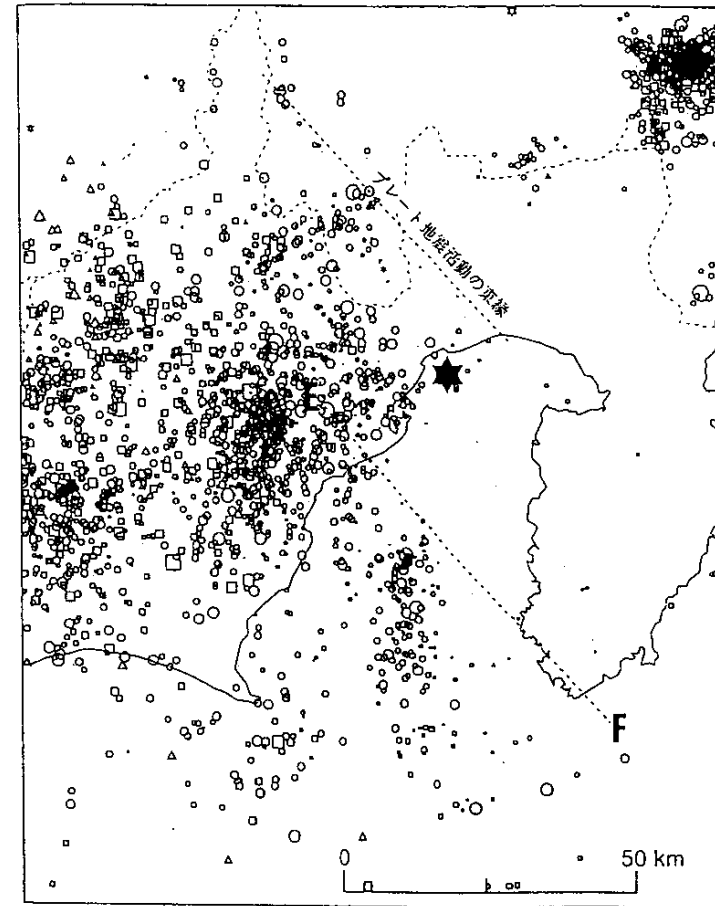
第2図 微小地震の分布（1994年11月1日～1995年4月30日）震源の深さが20km以深から80km未満のもの

Fig.2 Epicenter distribution of earthquakes (Nov. 1, 1994-Apr. 30, 1995) deeper than and equal to 20km.



N = 4240

DEPTH 0 10 20 30 km      MAG. 1 2 3 4  
 ○ □ △                              · ○ ○ ○



N = 2237

DEPTH 20 30 40 50 60 km      MAG. 1 2 3 4  
 ○ □ △ ☆                              · ○ ○ ○

第3図 駿河湾北部地震（1995年4月18日：M5.1）の震央と周辺の地震分布（1980年5月1日～1995年4月30日）

Fig. 3 Location of the epicenter of earthquake which occurred in northern part of Suruga bay (Apr. 18, 1995; M5.1), and epicenter distribution of earthquakes in the vicinity of Suruga bay (May 1, 1980-Apr. 30, 1995). a): shallower than 30km. b) : deeper than and equal to 20km. Broken lines show the seismic boundary in this area.